

美観地区に相応しいつらえ：
400年近く前から都市の文化的価値を理解してきた先覚者たちの思いを継承する



撮影：2012年4月（岡山県・倉敷市）

◆掘割の石積みを低く揃える

かつて舟の荷降ろしに使われた水際の小段は、美観地区の魅力づくりに大きく貢献しています。

川沿いの植栽樹木の根元が人に踏まれずに保護されます。また道を歩く人が水面に直接落ちることなく安心感が生まれます。景観的には水際が単調にならずに彫りの深い表情が生まれます。

倉敷の美観地区がテーマパークなどと違う点は、そこに大原財閥や倉敷商人の履歴が色濃く残されていることです。

国土文化研究所 特任研究員 岡村幸二（JRRN会員）